

株式会社 アルシュ arche

arche Journal



アルシュ ジャーナル

住まいに関するあれもこれも・・・

いろんなお役立ち情報を まとめてお届けします！！

目次

秋の空は、なぜ高い・・・？	1
買うよりお得？ 借地権付き住宅	2
25年で日本3個分！！ 減少する森林面積	2
住まいの構造形式 木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造	3
花の終わり方 花の散るさまの言葉	3
琉球瓦 沖縄の風土がつくった美しい風景	3
然にあれば、然にあれ プロダクツ&インテリアカラー	4

朝晩は寒いくらい。日中も気持ちの良い風が吹き本格的な秋がやってきました。春と同じく、秋を楽しめる期間はとても短いですが、お月見、ハロウィン、紅葉狩りなど季節のイベントも盛りだくさんですよ。他にも、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋など・・・

過ごしやすい季節なので、いろんなことに意欲が湧いてきます！

個人的には、毎年「秋だな～」と感じるのは匂いと音。夏が終わり夜になると、虫の音が聞こえるようになったら「お！秋が来る！」金木犀（キンモクセイ）の香りがすると「秋だな～」と秋の訪れを実感します。

みなさんが、秋の訪れを実感するのはどんな時ですか？



秋の花【金木犀（キンモクセイ）】

開花期間の短い金木犀。9月の終わりから10月の初めにかけて約2週間だけ花をつけます。空気のきれいなところでしか、花をつけません。今年は、どこで出会えるでしょう・・・？ (^_^)

秋の空は、なぜ高い・・・？

秋の空は、雲が薄い



巻雲（けんうん）と呼ばれる雲

秋の空は高いと言われますが、その理由をご存知ですか？

基本的に、夏から秋にかけて空が透明度を増します。夏は海育ちの、秋は大陸育ちの高気圧によって晴れるのですが、大陸育ちの高気圧は空気中に含まれる水蒸気が少ないため、空の青さが濃く見え、空が澄んで見えるようになります。そして、この水蒸気量の変化により、雲の様子も、私たちの知っている「秋らしい」薄い雲に変化していくのです。

また、春と秋でも透明度が違います。春も秋と同様、大陸育ちの高気圧に覆われるのですが、春の空は霞んだイメージで秋の空は青く澄んだ印象があります。春は雪や氷が融けたばかりで、空気中に土や砂が舞い上がりやすい状態になっています。春に黄砂が発生するのもこの為です。対して、秋は夏の間草が生い茂り、土や砂などが立ちにくくなっているので、空気が澄んで空の透明度も上がり空が高く見えるというわけなのです。

買うよりお得？ 借地権付き住宅

住まいを探していると、ときどき見かける“借地権付き住宅”という言葉。これってどういう意味なのでしょう？

借地権とは、その名のとおりに『土地を借りる権利』のこと。

借りるといっても賃貸住宅とは違い、建物は自分の所有になります。

自分の家なので、壁に釘を打ったり、壁紙と張り替えたりというリフォームも可能です。暮らしぶりという点からは、土地付きの住まいを購入したのと何ら変わりはないのですが、住宅購入時には建物価格のほかに、土地分の保証金や権利金などがかかります。入居後は、土地の固定資産税が掛からない代わりに、毎月地主に地代を支払います。



【借地権住宅でできること】

- ①事前に地主に言っておけば、増築や建替えができます。
- ②地主の承諾を得れば、譲渡や賃貸も可能です。

借地権には、大きく分けて3種類あります。

【旧借地権】（1921年～1992年）

借地期間が満了しても地主側に正当な事由がなければ、引き続き契約が更新されます。

【普通借地権】（1992年～）

地主側に正当な事由がなく、借地人が希望すれば自動的に更新されます。

（当初の借地期間が30年、1回目の更新は20年で2回目以降は10年ごと）

【定期借地権】（1992年～）

借地期間が決められていて更新がなく、契約期間が満了した時は、土地を更地にして返還することが原則となっています。

住宅の場合、契約期間は50年が一般的で立ち退き料の請求はできません。

借地権つき住宅のメリットは、なにより土地+建物の所有権がある物件に比べて価格が安いこと。

近年は定期借地権付き住宅が主流で、多くの人が50年以上同じ場所に住んでいることは少なく、一定期間住める場所を低価格で確保できます。

デメリットは、担保価値が低いので、住宅ローンを組むことや借り換えが難しく、資産価値が低いので相続が難しくなること。高齢になってから更地にする費用が必要な上に、住む家がなくなってしまう可能性があります。

25年で日本3個分！！ 減少する森林面積

国連食糧農業機関（FAO）の調査によると、1990年から25年間に農地転換や違法伐採などにより失われた世界の森林面積が、1億2900万ヘクタールに上ることが発表されました。

これは、日本の国土面積の3.4倍に当たります。25年の間に、日本約3つ分の森林が姿を消してしまったのです。

FAOの報告書によると、南米やアフリカでの森林の減少が著しく、熱帯雨林の違法伐採が問題視されているブラジルでは、年間約100万ヘクタールの森林が消失し、大規模な森林破壊が続いています。国によって差が激しいものの、世界全体としての森林の消失率は2000年代からは減少傾向に。

ブラジルなど、一部の国では森林の減少

が進む一方で、植林活動などに力を入れて取り組む国が増えてきています。

中国では、年間約150万ヘクタールのペースで森林面積が増加しています。

しかし、森林を守ったり増やしたりしなくてはならないのは、実は海外の事情。

日本では自国の森林資源がほとんど使われていません。世界でも有数の森林国。

国土の約7割を森林に覆われ、日本の森林の持つ機能を貨幣換算すると、年間約70兆円とも言われています。

日本では過去40年、森林面積の増減はありません。しかし、天然林は減少し、現状では人工林が増え続けています。

その理由は戦後の拡大造林でした。その木々が成長して、今の日本では、成長した森林を活かす時代になってきているのです。

面積の割合は、人工林と天然林で約1：1



国土面積に占める森林面積の割合は、先進国の中では、フィンランド、スウェーデンに次いで日本は3番目。

【参考】

◆森林・林業学習館

<http://www.shinrin-ringyou.com/>

◆9月28日 毎日新聞

住まいの構造形式 木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造

家づくりというと、どのような間取りにするかは、とても気になることですね。安全性を考えるうえでも、間取りとともに検討すべきこと、それは建物の構造なのです。

《木造住宅》

住宅の主要な部分に木材を用いる構造形式。日本古来より多く用いられている形式です。木材は吸水性・吸湿性が高く、温度や湿度が季節によって大きく変化する日本の風土にあった素材。間取りの自由度が高く、リフォームがしやすいのも特徴のひとつです。

《鉄骨造住宅》

略してS造とも言われています。柱や梁などの主要な構造部分に鉄骨を用いた住宅。鋼材は加工しやすいので、比較的自由に設計できます。強度があるので、柱の無い広々とした空間やガラス張りの壁などを造ることが可能になります。

《鉄筋コンクリート造》

略してRC造とも言われています。引っ張る力が強い鉄筋と、圧縮する力の強いコンクリートが組み合わさることで、より強い強度の柱や梁が構築されます。優れた耐震性・耐火性・耐久性を兼ね備えています。木造や鉄骨造に比べ工期が長く、コストもかかります。



鉄骨造に使用する代表的な鋼材。断面がアルファベットのHの形をしているのでH鋼と言います。

花の終わり方 花の散るさまの言葉

表現の豊かさを語られることが多い日本語。花の終わりの表現も実に様々です。例えば、桜は「散る」という表現がよく使われますが、「舞い散る」と言ったりもしますよね。この「舞い散る」という

表現は桜特有のもの。ほんやりと、花が“散る”や“しおれる”を使っている人も多いかと思いますが、花によって終わる時の言葉が違っているのです。花の終わり方は、古くから様々な言葉で

表現されてきました。この言いまわしは知ってるというものがあっても、なかなか普段の会話などで使う機会はないかもしれません。ユニークなものもあり美しい。やっぱり日本語は面白いですね！



梅：こぼれる



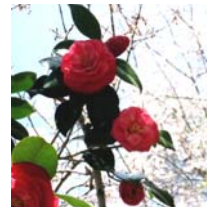
牡丹：くずれる



桜：散る



朝顔：しぼむ



椿：おちる



菊：舞う

琉球瓦 沖縄の風土がつくった美しい風景



近年、琉球瓦の伝統的価値が見直され始めています

沖縄の街並みを見ると、赤い屋根の家をよく見かけませんか？それは、琉球瓦という赤い瓦を使っているからなのです。琉球瓦は、沖縄の南部にあるクチャという鉄分を多く含む黒い土と水だけでできています。土の鉄分が酸化し、それを焼くことで独特の赤が生まれるのです。平らな瓦の女瓦（ミーガーラ）の上に、丸い瓦の男瓦（ウーガーラ）を載せ、継ぎ目を白の漆喰で塗り固めています。琉球瓦は、沖縄の夏の直射日光を反射し、熱を吸収しないという優れたもの。吸水性・

通気性にも優れていて、結露防止効果もあります。なにより沖縄といえば、台風銀座と呼ばれるほど年にいくつもの台風が接近・上陸します。長時間にわたる暴風・暴雨で瓦が飛んでしまい、雨漏りや飛んだ瓦による人的被害が起こることも。そこで、瓦が飛ばされないように継ぎ目を漆喰で塗り固めるようにしたのです。青い空と海に、漆喰の白と瓦の赤が映える風景。見た目の美しさに加え、機能的にも優れた琉球瓦は、沖縄の厳しい風土が生んだ瓦なのです。

然にあれば、然にあれ プロダクツ&インテリアカラー

日本流行色協会（JAFCA）による、今年の秋冬のプロダクツ&インテリアのテーマカラーが発表されました。毎年、“レディスウェア”“メンズウェア”“プロダクツ&インテリア”の各部門のトレンドカラーが決定されます。2015年のプロダクツ&インテリアカラーのテーマは『然（さ）にあれば、然（さ）にあれ』。「それなら、それで」というような意味合いで、意志をもって素に戻るといった意味が込められているのだとか。

今シーズンの提案は、人がその空間で「素」の状態（自然な状態）でいられるような色が選ばれています。そして、このカラーテーマは3つのカラーグループによって構成されています。

今年のテーマ：然にあれば、然にあれのカラーグループは『強くあれ』『やさしくあれ』『然にあれ』の3グループ。

やさしくあれ



1. やさしくあれ

霧にけむった冬景色に浮かび上がる木々をイメージさせるグレイッシュブラウン、霧に浮かぶうっすらとしたパープルやブルー、マットな質感を持つグレーなどの淡い色調。

強くあれ



2. 強くあれ

テキスタイル商品に向けての提案されたカラーグループ。秋冬の定番、深いグリーンやレッド・パープルと、スモーキーな金属色などで構成されたグループ。

然にあれ



3. 然にあれ

茶色がかったグレーや黄みのあブラウン系を基調に、ターコイズブルーやグレイッシュなパープルを加えた、モダンな印象の今シーズンのテーマを最も象徴するカラーグループ。

秋冬ということで、グレーがかった色や、深みのある色を中心にグループが構成されています。

カラートレンドの検討は、実シーズンのおよそ2年前から始まるというから驚きです。

この2年の間に、調査→選定→情報発信→企画→商品化され、シーズンごとに私たち消費者の手に届くというわけです。

これから冬の終わりまで、あちこちのお店で、この流行色を見かけるかもしれませんね。

【参考】一般社団法人 日本流行色協会 / JAFCA <http://www.jafca.org/>

新築・リフォーム・住まいのことなら！

株式会社 アルシュ arche

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL : 06-6380-5420

FAX : 06-6380-5421

Email : arche@blue.ocn.ne.jp

<http://www.arche-arche.net>

アルシュでは、ご自宅を公開していただけるお客様を募集しております。ご自宅にお伺いしての写真撮影・インタビューなどに、ご協力をお願いします。また、楽しくなるようなひらめきや工夫でECOライフを楽しんでいる方のお話なども募集しております。その他ご質問や取り上げてほしい話題・住まいに関する疑問、我が家のペット自慢等々、是非お気軽にお寄せ下さいませ。皆様からの、率直なご意見・ご感想 お待ちしております。